

赤十字防災セミナー（一般対象）実施要項

近年、自然災害が激甚化・頻発化しているが、災害の規模が大きくなるほど「公助」による支援で救える命は限られる。

災害はいつ発生するか予測が困難であり、災害をなくすことはできないが、事前の対策や備えにより被害を少なくすることはできる。

赤十字防災セミナーの実施を通じて防災及び減災に努め、人々の「知識」・「意識」・「技術」の向上を図り、「自助」と「共助」の力を高めることで、自他ともに命を守り被災に伴う心身の苦痛を軽減させることを目指す。

- 1 対 象 一般市民（企業・団体・自治会等を含む）
- 2 内 容 別紙プログラム一覧のとおり（①～⑫の中から選択 ※複数選択可）
- 3 実施時間 実施するプログラムの所要時間
※原則として実施は9：00～17：00の間
上記時間以外 又は 土日祝祭日の実施を希望する場合は要相談
- 4 受講人数 10人以上
- 5 会 場 依頼元が指定する会場
- 6 講 師 日本赤十字社職員 又は 赤十字ボランティア
- 7 費 用 無料
※非常炊き出し等を除く
- 8 必要資材 日本赤十字社大分県支部にて準備する。
ただし、非常炊き出しを希望する場合は、依頼元にて必要資材（炊き出し器・米・容器・プロパンガス等）を準備のうえ費用を負担すること。
※必要資材の準備が難しい場合は、当支部にて準備し、後日費用を請求することも可能なので相談すること。
- 9 服 装 動きやすい服装（ズボン等）

- 10 申込方法 依頼元は、実施日の2ヶ月前までに当支部あて連絡して仮予約のうえ、実施日の1ヶ月前までに防災セミナー申込書を送付すること。
- ※申込書は、日本赤十字社大分県支部ホームページ 「講習会について」内の「防災セミナー」項目に掲載

赤十字防災セミナー（奉仕団対象）実施要項

近年、自然災害が激甚化・頻発化しているが、災害の規模が大きくなるほど「公助」による支援で救える命は限られる。

災害はいつ発生するか予測が困難であり、災害をなくすことはできないが、事前の対策や備えにより被害を少なくすることはできる。

赤十字防災セミナーの実施を通じて防災及び減災に努め、奉仕団員の「知識」・「意識」・「技術」の向上を図り、「自助」と「共助」の力を高めることで、自他ともに命を守り被災に伴う心身の苦痛を軽減させることを目指す。

- 1 対 象 奉仕団員（奉仕団員以外の地域住民他も参加可）
- 2 内 容 別紙プログラム一覧のとおり（①～⑫の中から選択 ※複数選択可）
- 3 実施時間 実施するプログラムの所要時間
※原則として実施は9：00～17：00の間
上記時間以外 又は 土日祝祭日の実施を希望する場合は要相談
- 4 受講人数 10人以上
- 5 会 場 依頼元が指定する会場
- 6 講 師 日本赤十字社職員 又は 赤十字ボランティア
- 7 費 用 無料
- 8 役 割 〈支部〉
講師派遣、講義・実技等にかかる必要資材の準備
〈地区・分区、奉仕団〉
日時・場所・内容（プログラムから選択）等を支部及び奉仕団と相談のうえ決定すること。
①司会（地区・分区担当者）、あいさつ（奉仕団委員長）
②場所（施設利用）の手配
※場所は、可能な限り減免できる施設が望ましい。
③講義・実技等以外の必要資材（机・イス・プロジェクター等）の準備
④昼食を要する場合は必要資材等の準備

(正午を挟むセミナーの実施で昼食を要する場合)

- 9 必要資材
- ①講義にかかる資材
日本赤十字社大分県支部にて準備する。
 - ②講義以外の資材
地区・分区又は奉仕団にて準備する。
 - (3)昼食
地区・分区又は奉仕団にて準備する。
〈非所炊き出しの場合〉
必要資材(炊き出し器・米・容器・プロパンガス等)を準備すること。
※必要資材の準備が難しい場合は、当支部に相談すること。
〈弁当支給の場合〉
 - ・正午を挟んで実施する場合は、支給する(700円以内)。
 - ・正午を挟まず実施する場合は、支給しない。
- 10 服 装 動きやすい服装(ズボン等)
※奉仕団のユニフォームがあれば着用
- 11 申込方法 地区・分区担当者は、奉仕団と日時・場所・内容等を相談し、実施日の2ヶ月前までに日本赤十字社大分県支部あて連絡して仮予約のうえ、実施日の1ヶ月前までセミナー申込書を送付すること。
※申込書は、日本赤十字社大分県支部ホームページ「講習会について」内の「防災セミナー」項目下方に掲載